

“シューマン、ブラームス、シューベルトの全集CDでも高い評価を得ている円熟のデュオ!”

# 漆原朝子 & ベリー・スナイダー

(ヴァイオリン)

(ピアノ)

Asako Urushihara, Violin & Barry Snyder, Piano

次回開催予定=2017年12月



©Naoya Yamaguchi, Studio Diva

## 漆原 朝子 (ヴァイオリン) Asako Urushihara, Violin

東京藝術大学付属高等学校在学中に日本国際音楽コンクールにおいて最年少優勝。ジュリアード音楽院卒業。88年N響定期公演デビュー、ニューヨークでもリサイタル・デビューでも絶賛を博す。その後はマールボロ音楽祭でR・ゼルキンに指名されて共演したほか、ザルツブルク音楽祭などにも登場し、内外のオーケストラとの共演も数多い。

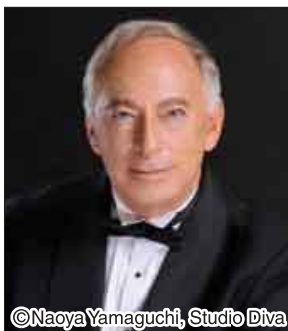
2003年以後 シューマンとブラームスのヴァイオリンソナタ全曲ライブCDを相次いでリリースして極めて高い評価を得る。06年にはシューマン没後150周年を記念してヴァイオリンソナタ全曲演奏に加えて、大阪センチュリー響(現 日本センチュリー響)と遺作のヴァイオリン協奏曲を演奏し注目と賞賛を得る。2008~09年にはベリー・スナイダー、ロータス・カルテットと共に『シューベルト:ヴァイオリン作品全集』をレコーディング。ベリー・スナイダーとは20年以上にわたってデュオを組んでおり、2009年にオール・シューベルト、2010年には生誕200周年記念 シューマン・プログラムなどテーマ性をもったリサイタルツアーをその後2013年、2015年にも行っている。

また、2012~13年には東京と大阪でベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ全曲ツィクルス(ピアノ=鈴木慎崇)を行い、聴衆にひときわ深い感銘を与えた。

最近では、ライフワークの一つでもあるエルガー:ヴァイオリン協奏曲をジョセフ・ウォルフ指揮=広響定期で演奏して絶賛されたのを契機に2015年2月に群響定期・東毛定期(指揮=J.ウォルフ)で同曲を再演して賞賛された。

姉 漆原啓子との共演で、平成26年度 文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。

現在、東京藝術大学准教授。



©Naoya Yamaguchi, Studio Diva

## ベリー・スナイダー (ピアノ) Barry Snyder, Piano

1966年、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて3つの賞を受賞し、注目を集める。

以後、レコーディング活動を積極的に行うと同時に、世界の主要都市で数多くのコンサートを行っている。ソリストとL.ストコフスキー、D.ジマン、C.デュトワ等の指揮による、デトロイト響、ワシントン・ナショナル響、ヒューストン響、アトランタ響等と協演。また室内楽奏者としての評価も高いほか、現代音楽にも意欲的に取り組み、V.レイノルズの“Florilegium. Vols.I&II 一ソロピアノのための一”、“ピアノと管弦楽のための協奏曲”、C.パンの“ベリー・スナイダーのための即興曲”といった曲を献曲されている。70年よりイーストマン音楽院ピアノ科教授を務めるほか、世界各国よりマスタークラスの要請が数多く寄せられており、近年では“最も望まれるピアノ教授”としてその名が挙げられている。また、国際的ジャズ・ピアニストとして著名な小曾根 真にオーセンティックなクラシック奏法を伝授した師でもある。

### 2015年 日本ツアースケジュール

#### 7/5 町田・アーツスペースオー

- ◆エルガー:ヴァイオリン・ソナタホ短調 op.82
- ◆ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100
- ◆R.シュトラウス(ヴァーシャ・プジーホダ編曲):『ばらの騎士』第3幕よりワルツ
- ◆R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/6 りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館

- ◆ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100
- ◆R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/7 藤沢・鶴沼サロンコンサート

プログラム:7/5 町田公演と同一

#### 7/8 名古屋・宗次ホール

- ◆エルガー:朝の歌、ラ・カプリチエーズ
- ◆エルガー:ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 op.82
- ◆R.シュトラウス:『ばらの騎士』第3幕よりワルツ
- ◆R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/9 札幌・六花亭 ふきのとうホール

プログラム:7/12 東京公演と同一

#### 7/11 福岡・宗像ユリックス

プログラム:7/5 町田公演と同一

#### 7/12 東京文化会館 小ホール

- ◆シューベルト:ヴァイオリンとピアノのためのソナティネ 第2番 イ短調 D385
- ◆ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100
- ◆R.シュトラウス(ヴァーシャ・プジーホダ編曲):楽劇『ばらの騎士』より“ワルツ”
- ◆R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18

#### 7/14・15・16 鳥取県立倉吉未来中心小ホール

レコーディング

- ◆エルガー:『ため息』op.70、ヴァイオリンソナタ ホ短調 op.82
- ◆R.シュトラウス:ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 op.18、『ばらの騎士』よりワルツ

#### 7/17 米子市文化ホール

プログラム:7/12 東京公演と同一

#### 7/18 岸和田・カフェのだて

- ◆エルガー:ソスピリ(ため息) op.70
- ◆シューベルト:ヴァイオリンとピアノのためのソナティネ 第2番 イ短調 D385
- ◆クライスラー:愛の喜び、愛の悲しみ
- ◆ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第2番 イ長調 op.100

#### 7/19 岸和田・むくの木ホール

プログラム:7/8 名古屋公演と同一

#### 7/20 京都府立府民ホール アルティ

プログラム:7/12 東京公演と同一

お問い合わせ/コジマ・コンサートマネジメント

TEL.03-5379-3733 / 090-3727-6539

URL▶<http://www.kojimacm.com> E-mail▶[kojimacm@ops.dti.ne.jp](mailto:kojimacm@ops.dti.ne.jp)

# 漆原朝子のブラームス

「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 完全全曲演奏会」

日本経済新聞 平成16年6月14日(月)夕刊 音楽評論家 小石 忠男

一昨年、シューマンのソナタ全曲で好評を博した漆原朝子が、今回はブラームス「ヴァイオリン・ソナタ全曲」に挑戦(三日、神戸新聞松方ホール)した。ピアノは前回と同じベリー・スナイダー。ソナタ三曲と「スケルツォ」を弾いたが、各作品の特色を鮮明に弾き分け、前回よりもさらに強い感銘をあたえた。

## 四弦のみごとに揃った音

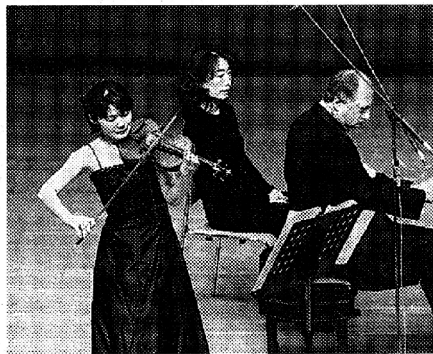
技術的にも一段と洗練され、ヴァイオリンは四弦のみごとに揃(そろ)った音が美しい。しかも第一番ではゆとりのあるテンポをとり、清潔・平明な音楽を歌った。

ピアノもまったく虚飾のない音と表情で、柔軟な弦と対話したが、たとえば第一楽章の終結部では二人ともに加勢し、引き締まった造形の説得力が凄(すこ)い。第二楽章の重音も明々

## 漆原朝子がブラームス・ソナタ

と歌い、音楽的な器量が大(お)きい。

第二番は三曲中もっとも明らかな曲趣だが、ゆるるリズムがこまやかなニュアンスをあらわし、そのため第一



観客で洗練された音色を魅了(撮影・河崎 宏介)

二楽章の甘美な旋律線は、もう魅惑的(めいわく)としかいいようがない。青春の叙情を回想させる至福の時である。途中の急速な部分では、さらに切れのよさが欲しいが、終楽章とのバランスはよい。

休憩後は、まず「F・A

は自信にみちた境地に到達したようである。

・Eソナタのスケルツォが演奏された。はつらつとした音楽である。しかし、それよりも最後の第三番が当夜の圧巻となった。ヴィブラートの処理も巧妙で、全体の構築にスケールの大きなドラマが現された。二人の演奏者の息づまるような緊張と情熱の燃焼も、聴き手を離さない。とくに後半の二つの楽章の的確な高揚と、旋律の意味深さは感動的である。

漆原はブラームスの複雑で晦渋(かいじゆう)な趣を直感的にとらえ、一挺(いちてい)ちようの楽器とは思えぬ交響的な響きで、その神髄に迫った。音構造も明快に整理されていたが、いま彼女は自信にみちた境地に到達したようである。

## 協奏曲 主要レパートリー

(2015年7月現在)

J.S.バッハ	協奏曲 第2番 変ホ長調 BWV1042 2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043	モーツァルト	協奏曲 第3番 長調 K.216 協奏曲 第4番 二長調 K.218 協奏曲 第5番 イ長調 K.219 2つのヴァイオリンのためのコンチェルトーネ 長調 K.166b ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 長調 K.364
バーバー	協奏曲 op.14	プロコフィエフ	協奏曲 第1番 二長調 op.19 / 協奏曲 第2番 短調 op.63
バルトーク	協奏曲 第1番 Sz.36 / 協奏曲 第2番 Sz.112	サン=サーンス	協奏曲 第3番 短調 op.61
ベートーヴェン	協奏曲 二長調 op.61 ピアノとヴァイオリンとチェロのための三重協奏曲 長調 op.56	シューマン	協奏曲 二短調(遺作) / 協奏曲 短調 op.129 (原曲=チェロ協奏曲)
ベルク	協奏曲 室内協奏曲	シベリウス	協奏曲 二短調 op.47
ブラームス	協奏曲 二長調 op.77	チャイコフスキー	協奏曲 二長調 op.35
ブルッフ	協奏曲 第1番 短調 op.26 / スコットランド幻想曲 op.46	ヴェータン	協奏曲 第5番 短調 op.37 『ル・グレトリ』
エルガー	協奏曲 短調 op.61	ヴィヴァルディ	4つのヴァイオリンのための協奏曲 変ロ長調 協奏曲集『四季』
グラスノフ	協奏曲 短調 op.82	ヴィエニャフスキ	協奏曲 第2番 二短調 op.22
ハイドン	協奏曲 第1番 長調 Hob.VIIa-1	武満 徹	遠い呼び声の彼方へ! ~ヴァイオリンとオーケストラのための(1980)
ラロ	スペイン交響曲 op.21	ルトスワフスキ	チェーン II ~ヴァイオリンとオーケストラのためのディアログ
メンデルスゾーン	ヴァイオリン協奏曲 短調 op.64		

## 漆原朝子&ベリー・スナイダー ディスコグラフィ

<p>アヴェ・マリア (fanhouse-1995)</p>	<p>ハンガリー・ヴァイオリン 音楽の20世紀 (fontec-2001)</p>	<p>シューマン： ヴァイオリン・ソナタ 全曲 (fontec-2003)</p>	<p>ブラームス： ヴァイオリン・ソナタ全曲 (fontec-2005)</p>	<p>シューベルト： ヴァイオリン作品集 (fontec-2010) 共演：ロータス・カルテット</p>	<p>サン=サーンス&amp;ルケ (fontec-2015)</p>
------------------------------------	---	---	--	--	---